

みず・まち・自然 エンジョイ！米子

広
報

よなご

10

2021 October
No.199

鳥取県ボクシン



◎ 巻頭特集

おめでとう！ありがとう！

～オリンピック・パラリンピック出場報告～

◆ 特集

住む人がいなくなった家のこと、
考えてみませんか

どうする空き家

おめでとう！ありがとう！

～オリンピック・パラリンピック出場報告～

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、米子市から5人の選手が出場し、その活躍に大きな感動と勇気をもらいました。地元からの熱い応援に対する選手の皆さんからのコメントを紹介します。



入江聖奈 選手
ボクシング女子フェザー級
金メダル獲得

皆さん、応援していただき、本当にありがとうございました！
これまで温かく支えていただいた地元の皆さんに、金メダルという形で恩返しができたと感じます。次のアジア大会でも金メダルを獲れるよう、これからも頑張ります！

米子市市民栄光賞を受賞！

入江選手の功績を称え、8月18日、米子コンベンションセンター



にて米子市市民栄光賞が授与されました。この賞は、芸術・文化・体育等の分野において、その功績が全国的に卓越し、市民の尊敬を受け、誇りとされる方に贈られます。入江選手は米子市が新市になってから初の受賞者であり、旧米子市を含めると12人目の受賞者になります。

武良竜也 選手（競泳）

平泳ぎ 200m 7位入賞、平泳ぎ 100m 準決勝進出
男子 4×100m メドレーリレー 6位入賞

地元の皆さんからの応援が、すごく力になりました！ありがとうございました！今までお世話になった鳥取県が盛り上がるきっかけになれたことも、うれしく思います。200m平泳ぎではメダル獲得をめざしていたので悔しい結果になってしまったのですが、最終種目である4×100mメドレーリレーで日本新記録、アジア新記録を出すことができオリンピックの良い締めくりができたのではないかと思います。

この先は、パリオリンピックでメダル獲得をめざしてまた精一杯頑張っていきますので今後ともご声援よろしくお願ひします。





富田千愛 選手 (ボート 女子軽量級ダブルスカル) 10位

地元の皆さまより多くのご声援ありがとうございました。大会開催に対して不安や葛藤がある中、皆さまの声援は、とても心強く感じました。前回大会での12位から表彰台をめざしてトレーニングをしてきました。最終順位は10位でしたが、歴代日本の最速タイムを出す事ができました。今回の五輪を通して、レースの勝ち負けではなく世界の仲間たちと同じ苦しさやつらさを一緒に乗り越え、ずっと夢見た「東京2020五輪」という舞台に立てたことへの喜びと幸せを感じました。地元から多くの応援の声が届き、私の背中を押してくださいました。本当にありがとうございました。

三上紗也可 選手 (飛び込み 女子3m板飛び込み) 準決勝進出

オリンピックの舞台を夢みて12年間頑張ってきました。楽しいこともつらいこともありましたが、終わってみればあっという間で、オリンピックまでの道のりは短く感じました。オリンピックの舞台は自分の想像していた景色とは少し違いましたが、それでも楽しく、チームが一つになって日本代表として戦うことを誇りに思いました。今まで支えていただいた県民の皆さんに結果で恩返しをしようと思いましたが、次のパリオリンピックに向けてもう一度前を向いて金メダルをめざして歩みます。これからも応援よろしくお願いたします。



安野祐平 選手 (陸上男子 T33 クラス 100メートル) 5位

(安野選手のコーチでもあるお父様の恭司さんから代理のコメント)
このパラリンピックは、コーチやトレーナーのサポートを近くで受けずに出場した初めての大会で、東京出発前から過度に緊張していました。大会を終えると第一声に、パリパラリンピックへの出場を今後の目標にするといいました。一緒に走った選手に対しては、「速くてびっくりした」と世界の力を肌で感じたようです。そして、サポートしてくださった日本代表スタッフに対する感謝の気持ちを口にしていました。サポートしてくださった皆さま、応援してくださった皆さま、本当にありがとうございました。次のパリに向けて、がんばります。

